

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

平成 30 年度病虫害発生予察速報第 2 号について

このことについて、病虫害発生予察速報第 2 号(ミナミアオカメムシ)を発表したので送付します。
県下 5 か所の予察灯における 5 月 1 半旬～8 月 4 半旬の誘殺虫数は、平年より多くなっています。
水稻や大豆への加害が多くなる可能性があるため、今後の発生状況の確認と、適切な防除指導
をお願いします。

速報 第 2 号

1 対象作物:水稻、大豆

2 病虫害名:ミナミアオカメムシ

3 発生地域:県下全域

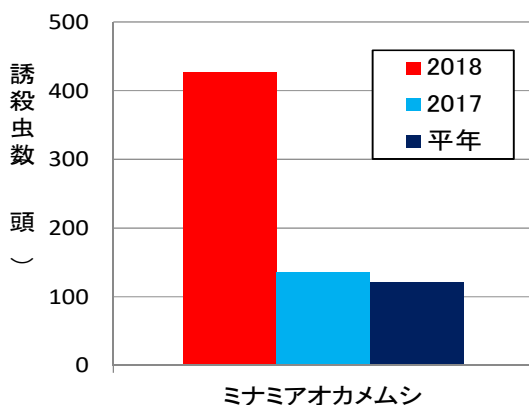
4 速報の根拠

(1) 県下 5 か所の予察灯における 5 月 1 半旬～8 月 4 半旬の誘殺虫数は平年より多い(図)。
: 427頭(平年 122頭、前年 136頭)

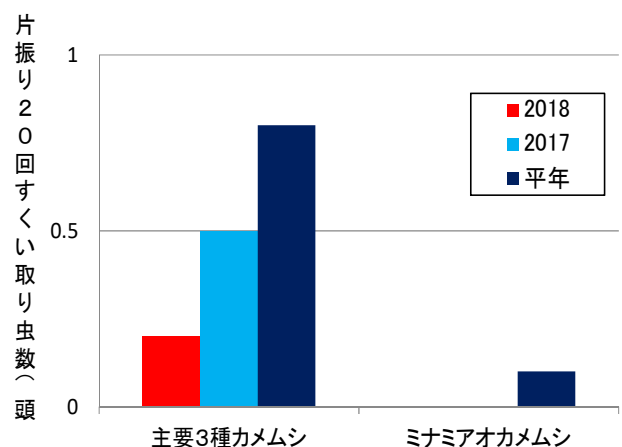
(2) 8 月 5 半旬の水稻と大豆での発生量は、平年並であった(図、表)。

1) 水稻: 20 回すくい取り虫数<普通期> 0 頭(平年 0.1 頭、前年 0 頭)
発生ほ場率 0%(平年 3.3%、前年 3.8%)

2) 大豆: *Nezara* 属カメムシ<ミナミアオカメムシ、アオクサカメムシ>
: 10 株当たり虫数 0 頭(平年 0.0 頭、前年 0 頭)
発生ほ場率 0%(平年 1.3%、前年 0%)



予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺状況
(5月1半旬～8月4半旬)



本田におけるカメムシ類の発生密度(8月5半旬)

図 水稻における発生状況

* 主要 3 種カメムシとは、クセハリ・ホソハリ・シラホカメムシ

表 大豆における発生状況

項目	予察灯誘殺数(県内5ヶ所合計)					大豆ほ場での10株当たり虫数(県内10~19ヶ所合計)				
	年/月旬	5月	6月	7月	8月	合計	8-5	9-2	9-5	10-2
2018	16	7	352	52	427	0	-	-	-	0
2017	24	31	116	86	257	0	0.1	1.1	3.5	4.7
2016	2	3	27	30	62	0	0	0	0.5	0.5
2015	8	6	30	16	60	0	0	0.4	2.5	2.9
2014	12	18	70	31	131	0	0	0	1.7	1.7
2013	0	16	131	148	295	0	0.6	0.7	2.8	4.1
2012	13	31	44	53	141	0	0	0.7	1.0	1.7
2011	0	3	2	17	22	0	0.1	1.1	1.0	2.2
2010	8	22	19	18	67	0	0.1	0.6	2.6	3.3
2009	18	31	90	73	212	0	0	0.2	3.0	3.2
2008	68	81	109	128	386	0.1	0.5	1.0	4.4	6.0
2007	14	20	108	69	211	0	0.2	2.5	11.9	14.6
平均	15	24	68	61	168	0.0	0.1	0.8	3.2	4.1

* 予察灯誘殺数(ミナミアオカムシ成虫)の2018年は8月4半旬までの合計

* ほ場での虫数はミナミアオカムシとアオクサカムシ成幼虫の合計

は県内での発生が多かった年次

5 防除上注意すべき事項

(1) 水稲

穂の成熟に合わせて水田内に移動してくるので、発生状況には充分留意し、発生が多い場合は農薬安全使用基準(使用時期、使用回数)を遵守し、薬剤防除を行う。

また、広範囲に移動するので、できるだけ広域一斉防除に努める。

(2) 大豆

予察灯での誘殺数は、ほ場での発生が多かった2007年、2008年、2013年より多いため、子実肥大期以降の発生状況には充分留意し、防除適期である開花期後30日前後(9月中~下旬頃)の薬剤防除を徹底する。

○病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「福岡県病害虫防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>

福岡県病害虫防除所



最新の病害虫発生状況